



2021/3/18

## 2021年度九州アジアリーグ 公式戦・交流戦ルール

### 【延長戦】

- (1) 試合は9回までとする。
- (2) 9回裏終了後に同点の場合は、10回よりタイブレーク戦を行う。一死満塁の状態で行い、攻撃する打順を選択できることとし、監督は両チームの攻撃が始まる前に選択する打順を球審に申告しなければならない。以後延長回が続く場合は継続打順とする。この場合の走者は打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、二塁走者の前の打順の者が三塁走者となり、この場合の代打・代走は認められる。  
※タイブレークは12回までとし同点の場合は引き分けとする。  
※当該回の裏の第3アウトが確定した時点で21時30分を経過していた場合は次のイニングに入らない。(球場規定及びリーグが判断した場合に限る)
- (3) 球場規定により延長戦を開催できない場合、9回裏終了時点で同点の場合は引き分けとする。
- (4) NPB 球団および他のプロ野球リーグ所属球団との交流戦においては、9回打ち切り等の特別ルールを適用する場合がある

### 【ノーゲーム】

- (1) 試合は5回終了をもって成立する。5回表終了時点でホーム球団がリードしている場合は、試合が成立したものとみなす。
- (2) 試合成立前に雨天等によって試合が中断された場合、ゲーム続行の可否は責任審判員が判断する。
- (3) そのままゲーム続行が困難となった場合は、ノーゲームとして改めて再試合を行う。
- (4) NPB 交流戦及び他地区交流戦が雨天等により中止、またはノーゲームとなった場合、当該試合の全ての記録は公式記録に参入せず、0対0の引き分けとして扱う。
- (5) 他地区交流戦において、同カードが中止になった場合、0対0の引き分けとして扱う。

### 【指名打者】

指名打者制 (DH 制) を採用する。

### 【予告先発】

- (1) 予告先発は公式戦のみ採用する。発表は試合前日の午後3時とする。
- (2) 発表後は原則として変更できない。ただし、発表日の試合が雨天中止またはノーゲームとなった場合はこの限りではない。
- (3) 止むを得ない理由で発表後に変更された投手は、その日を含む3試合に出場することはできない。

### 【選手契約・出場選手】

- (1) 各球団が契約できる選手は上限を定めない、球団の裁量とする。
- (2) 公式戦の出場選手登録ができる選手は30名を上限とする。
- (3) 公式戦において同時に出場できる元プロ野球選手と外国籍選手数の定めはないものとする。



**【優勝決定方法】**

2021年度は、2球団のため優勝は直接対決の勝ち数とする

■勝ち数が同数の場合には、下記の順に優位な球団を優勝とする。

- (1) 当季の得失点差      (2) 当季の総得点数

**【規定打席・規定投球回】**

(1) 規定打席は、所属球団の試合数×2.7 打席とする。

(2) 規定投球回は、所属球団の試合数×0.8 回とする。

※個人成績は公式戦及び交流戦の成績で算出する。

改定：2021年4月12日

改定箇所 【延長戦】(1)の追記、【公式戦・交流戦扱い】付記

**【公式戦・交流戦の扱い】**

- (1) 公式戦とは九州アジアリーグ所属球団同士の試合で、交流戦とは他のプロ野球団との試合となり、それぞれ九州アジアリーグ公式試合です。

以上